

ローラースケート・全日本学生選手権

男子総合優勝、女子3位

1600メートルリレーは男女とも優勝



2位と健闘したホッケー部門

全日本学生ローラースケート選手権が10月15日から17日まで、長野県千曲川リバーフロントスポーツガーデンで行われた。男子がスピード部門で優勝、ホッケー部門で2位となり、総合優勝に輝いた。スピード部門は500

0位で矢吹健(法2・福島西高)が、1600メートルリレーで矢吹・馬場健治(法4・南会津高)・家寿多俊主将(商4・上郷高)・金子哲哉(ネッ)・田高(高)組が優勝するなど、全種目で上位入賞。ホッケー部門は決勝で立大に敗れたものの健闘し、家寿多が敢闘賞を受賞した。金子は「今回の結果はとも自信になった。試合は苦しかったが、練習通りの展開で進められた。来年に向けて、もう一度、基礎から積み上げていきたい」と話した。

馬術・全日本学生競技大会

障害飛越・植田2位と健闘

障害飛越・植田2位と健闘

全日本学生馬術競技大会(全日本学生三大大会)が10月21日から27日まで、JRA馬事公苑で行われた。この大会は全日本学生賞典障害飛越、同馬場馬術、同総合馬術の3競技大会の総合成績で争われる。植田俊輔(商2・倉敷鷺羽高)がトップタイの4選手によるジャンプオフに進出。優勝にあと一歩及ばなかったが、2位と健闘した。鶴林舞主将(商4・市立前橋高)は「もっと上位を狙っていた。個人的にはあまり調子は良くな



巧みな騎乗で2位となった植田とロッキンジー号(撮影・溝井智大・文1)

かったし、馬の長所を出し切れず、悔が残ってしまった。(小澤)



多くの競技で入賞し、トロフィーを独占した部員たち

女子は1600メートルリレーで小澤日春(経済3・伊志田高)・寺澤典子(経済3・上野原高)・夏谷美咲(文1・生田高)・木方みのり(文2・高島高)組が1位となり、スピード部門で優勝。総合でも3位となった。(渡邊 綾佳・ネット情報)



安定したバッティングを見せた新主砲・石川

準硬式野球・東都大学秋季リーグ戦

新チームで臨み2位

冬期練習の成果に期待

は中大との第3戦に挑んだが0-2で敗退。7勝5敗・勝ち点3の2位となった。4年次生が抜け、新チームで臨んだ今リーグ。初めは守備のミスが目立っていたが、試合を重ねるごとに安定感を増した。攻撃では4番に座った石川竜太郎(法3・日本航空高)が4割を超す打率を残すなど、新主砲として結果を残した。次期主将の児島祐(経営3・太田市立商高)は「劣勢な場面でも逆転するかなど、課題が見つかった。個々に役割を考え、来季に向けて冬期の練習に取り組みたい」と話した。

東都大学準硬式野球秋季リーグ戦の最終戦が10月19日に行われた。専大が2位に終わった。専大は、課題が見つかった。個々に役割を考え、来季に向けて冬期の練習に取り組みたい」と話した。

関東選抜チームに3選手 全日本大学9ブロック対抗に出場 関東地区選抜チームに手が選出され、11月12日坂東龍一郎(ネット情報)が4・県立岐阜商高)が4・野翔太(経営4・作新学院高)・川田展行(経営3・桐生第一高)の3選手

バスケットボール・関東大学リーグ戦 10勝8敗の6位 1年次の宇都が得点王に 関東大学バスケットボールリーグ戦が9月4日から10月31日まで、代々木第二体育館ほかで終わった。最終戦で拓大に87-101で敗れた専大は10勝8敗の6位でリーグ戦を終えた。チームとしては満足いく成績を残せなかったが、1年次生ながらレギュラーとして活躍した宇都

得点源として活躍した宇都 関東大学バスケットボールリーグ戦が9月4日から10月31日まで、代々木第二体育館ほかで終わった。最終戦で拓大に87-101で敗れた専大は10勝8敗の6位でリーグ戦を終えた。チームとしては満足いく成績を残せなかったが、1年次生ながらレギュラーとして活躍した宇都

84kg級で鈴木3位

レスリングの全日本(工高)は、準決勝で中大を破り、3位決定戦で勝利し、3月14、15の両日、東京の駒沢体育館で行われた。84kg級に出場した鈴木聖二主将(経営4・岐阜)は、下半身を狙ってはいいけど、上半身を狙ってはいい(土屋 杏有美・文2)

女子団体ベスト8

全日本学生バドミントン選手権が10月15日から21日まで、東京体育館で行われた。女子団体は1回戦で松山大を3-0、2回戦で北翔大を3-1で下し、準々決勝に進出した。しかし、青山学院大にあと一歩及ばず、2-3で敗れ、ベスト8となった。個人では、女子シングルスで田村千秋(文4・昭和学園高)が順調に勝ち上がり、準々決勝へ。全日本学生柔道体重別選手権が10月9、10の両日、日本武道館で行われた。専大からは9月の東京学生柔道体重別選手権を勝ち抜いた2選手が出場。男子60kg級で田邊永吉(商3・高田高)が、同90kg級で大杉翔(経済4・青森北高)がともに

田邊、大杉ベスト16

全日本学生柔道体重別選手権が10月9、10の両日、日本武道館で行われた。専大からは9月の東京学生柔道体重別選手権を勝ち抜いた2選手が出場。男子60kg級で田邊永吉(商3・高田高)が、同90kg級で大杉翔(経済4・青森北高)がともに

記録コーナー

◇スピードスケート部 全日本距離別選手権(10月30、31日、長野県長野市オリンピック記念アリーナ)【男子3000メートル】花岡宏太(経営1・東海大付第三高) 16分11秒5(同5000メートル) 松尾駿(経済3・八戸西高) 18分11秒

箱根駅伝

7年連続67回目の箱根路へ

予選会9位通過

予選会9位通過

第87回東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が10月16日、東京都の国営昭和記念公園で行われ、予選会は、参加各校の12選手が走り、そのうち上位10人の合計タイムで順位が決まる。前回大会でシード権をか

第87回東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が10月16日、東京都の国営昭和記念公園で行われ、予選会は、参加各校の12選手が走り、そのうち上位10人の合計タイムで順位が決まる。前回大会でシード権をか

第87回東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が10月16日、東京都の国営昭和記念公園で行われ、予選会は、参加各校の12選手が走り、そのうち上位10人の合計タイムで順位が決まる。前回大会でシード権をか

第87回東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が10月16日、東京都の国営昭和記念公園で行われ、予選会は、参加各校の12選手が走り、そのうち上位10人の合計タイムで順位が決まる。前回大会でシード権をか

第87回東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が10月16日、東京都の国営昭和記念公園で行われ、予選会は、参加各校の12選手が走り、そのうち上位10人の合計タイムで順位が決まる。前回大会でシード権をか

第87回東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が10月16日、東京都の国営昭和記念公園で行われ、予選会は、参加各校の12選手が走り、そのうち上位10人の合計タイムで順位が決まる。前回大会でシード権をか

第87回東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が10月16日、東京都の国営昭和記念公園で行われ、予選会は、参加各校の12選手が走り、そのうち上位10人の合計タイムで順位が決まる。前回大会でシード権をか

第87回東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が10月16日、東京都の国営昭和記念公園で行われ、予選会は、参加各校の12選手が走り、そのうち上位10人の合計タイムで順位が決まる。前回大会でシード権をか

第87回東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が10月16日、東京都の国営昭和記念公園で行われ、予選会は、参加各校の12選手が走り、そのうち上位10人の合計タイムで順位が決まる。前回大会でシード権をか



得点源として活躍した宇都